

第2期 ふじさんっこ応援プラン

中間見直しの概要

見直しなし 第1章 計画策定にあたって

①計画策定の趣旨

「ふじさんっこ応援プラン(H27年2月策定)」の基本理念である「子育ては尊い仕事」を継承しつつ、社会情勢の変化やこれまでの取組の課題を踏まえ、「第2期ふじさんっこ応援プラン」を策定。計画中間年に事業の進捗状況に応じた見直しを実施。

②計画の性格

- 静岡県次世代育成支援対策行動計画
- 静岡県子ども・子育て支援事業支援計画
- 静岡県子どもの貧困対策計画
- 静岡県の新ビジョンの分野別計画

策定時：基本計画(2018～2021年度)
現行：後期アクションプラン(2022～2025年度)

③計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

④計画の対象

子ども、子どもの親、子どもを取りまく社会のすべての構成員(家庭、地域、学校、職場等)

中間年：令和4年度

見直しなし 第2章 計画策定の背景

少子化をめぐる状況

★少子化の進行には歯止めがかからず深刻化

- 毎年の出生数が低下し、子どもの数が減少
合計特殊出生率 (H30) 1.50 ⇒ (R3) 1.36
- 未婚化・晩婚化・晩産化の進行
平均初婚年齢 (H30) 夫 31.0歳、妻 29.1歳
⇒ (R3) 夫 30.8歳、妻 29.2歳
- 理想とする子どもの数と実際に持つ子どもの数に乖離
平均理想子ども数 (H26) 2.43人 ⇒ (R1) 2.43人
平均予定子ども数 (H26) 2.01人 ⇒ (R1) 2.07人

子どもと家庭を取りまく環境

★引き続き支援の推進が必要

- 依然として低い男性の育児休業取得率
男性の育児休業取得率 (H30) 8.7% ⇒ (R3) 9.2%
- 解消されない待機児童(⇒減少するも解消まで至らず)
待機児童数 (H31.4.1時点) 212人
⇒ (R4.4.1時点) 23人
- 子どもの貧困問題
子どもの貧困率(全国) (H27) 13.9% ⇒ (H30) 13.5%
ひとり親世帯の貧困率(全国) (H27) 50.8% ⇒ (H30) 48.1%

少子化対策・子育て支援における主な課題

★課題は未解決、更なる対策や支援の推進が必要

- 合計特殊出生率の向上 **結婚支援の推進**
- 子育てと家庭における経済的負担の軽減
- 男性の家事・育児への参画促進 **働き方の見直し**
- 子育てと仕事の両立支援
- 保育の着実な受け皿整備 **保育の充実と質の向上**
- 困難を抱える子どもの把握と支援 **ヤングケアラー支援等**

★中間見直しのポイント①

社会情勢に応じた少子化対策の体制を整備！
⇒ **結婚支援、子育てと仕事の両立支援を強化**

★中間見直しのポイント②

子どもが抱える社会的課題に対応した子どもの支援を強化！
⇒ **ヤングケアラーへの支援を新たに反映 ICT等を活用した教育支援の強化**

★中間見直しのポイント③

市町の子育て環境整備の充実を支援！
⇒ **出生数の減少への対応と就労状況に応じた保育ニーズ増への対応**

見直しなし 第3章 計画の考え方

基本理念

子育ては尊い仕事

-社会全体で、未来を担う子どもと子育て家庭を応援-

理念の下での「目指すべき社会の姿」

すべての子どもたちが大切に育まれ、誰もが豊かさを実感でき、子どもたちの笑顔があふれる社会

基本目標

第1 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現

第2 安心して子どもを育てることのできる社会の実現

第3 すべての子どもが大切にされる社会の実現

見直しあり

見直しあり 幼児期の教育・保育と放課後児童クラブの需給計画

1 幼児期の教育・保育の推進

- 区域の設定
- 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策

15市町見直し

- 待機児童の解消が進む中、少子化の影響による出生数の減少と、保護者の就労意欲の高まりによる**保育ニーズ増**の影響を反映。
- 3歳児以上については、教育(幼稚園)ニーズから、**保育ニーズへの移行傾向**が顕著。
- 0～2歳児については、保護者の就労状況の変化等によるニーズの変動を受け、**出生数が減少している一方**、当初計画より**やや高まったニーズ**を反映。

- 県の認可・認定に関する需給調整の考え方
- 幼児期の教育・保育の一体的提供
- 特定教育・保育と特定地域型保育の従事者数
- 教育・保育情報の公表

2 放課後児童対策の推進

- 放課後児童クラブの量の見込みと確保方策

13市町見直し

- 共働き世帯の増加や、保護者の就労形態の変化等による**利用申込の増**を反映。

- 放課後子供教室との一体型の推進
- 放課後児童クラブの従事者数

見直しあり 第4章 施策の推進

第1 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現

1 未来を担う若者の育成と支援 課

- 勤労観・職業観の醸成 **指 取**
- 学生・若者の就職支援 **指 取**
- 結婚支援の推進** **指 取**

2 子どもや母親の健康の保持・増進

- 妊娠・出産期から子育て期までの母子への支援 **指 取**
- 子育て支援における医療との連携 **指 取**
- 食育の推進

第2 安心して子どもを育てることのできる社会の実現

1 子育てと仕事の両立支援

- 企業における働き方の見直し **指 取**
- 男性の家事・育児参画の促進

2 地域の子育て支援

- 社会全体で子育てを応援する気運の醸成
- 県民が望む数の子どもを生み育てやすい環境整備 **指**

3 保育と放課後児童クラブの充実 課

- 待機児童の解消を目指す施設整備の促進 **指 取**
- 保育と放課後児童クラブの質の向上** **指 取**

4 子どもの健やかな成長を支える教育の推進 課

- 幼児教育の充実 **指 取**
- 確かな学力の向上 **指 取**
- 地域ぐるみの教育の推進 **指**

5 安心して子どもを育てることのできる社会の実現

- 子どもの安全の確保 **指 取**
- 子育てを支援する生活空間の整備 **指 取**

第3 すべての子どもが大切にされる社会の実現

1 配慮が必要な子どもへの支援 課

- 児童虐待・DV防止対策の推進 **指 取**
- 児童福祉施設・里親等で暮らす子どもへの支援 **指**
- ひとり親家庭の自立の促進 **指 取**
- 外国につながる子どもへの支援 **指 取**

2 子どもの貧困対策の充実

- 教育の支援 **指 取**
- 生活の安定に資するための支援 **指 取**
- 保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就業支援 **指 取**
- 経済的支援 **指 取**

3 障害等のある子どもへの支援

- 多様な障害や疾病に応じたきめ細かな支援 **指**
- 特別支援教育の充実** **指 取**

課 現状と課題の見直し 指 指標の見直し 取 具体的な取組の見直し

見直しあり 主な数値目標

| 数値目標名 | 目標値 (R6年度) | |
|----------------------------------|------------|------|
| | 見直し前 | 見直し後 |
| ふじのくに出会いサポートセンターにおける 結婚件数 | — | 45件 |
| 産後、助産師等からの指導・ケアを十分に受けることができた人の割合 | — | 100% |

| | | |
|-------------------------|-----|--------|
| 男性の育児休業取得率 | 13% | 25.8% |
| 固定的性別役割分担意識にとらわれない男性の割合 | 65% | 75% |
| 静岡県次世代育成支援企業認証の認証企業数 | — | 228社 |
| 認定 こども園の設置数 | — | 354箇所 |
| しずおか保育士・保育所支援センターによる就職率 | — | 11.28% |

| | | |
|---------------------------------|--|----------------------|
| 外国人児童生徒等に対して、必要な支援が実現できている学校の割合 | 小 85.7% 中 86.4% 高 90.0% 特 95.0% | 100% (毎年度) |
| 発達障害児の支援に携わる専門人材養成数 | 累計955人 (R2～6年度) | 累計1,921人 (R2～6年度) |

見直しあり 現状と課題・具体的な取組

| | |
|--------------|---|
| 課題 | ・ コロナ禍 による出会いの機会減少等 |
| 結婚支援 取組 | ・ ビッグデータ を活用したマッチングシステムの運用 |
| 子育てと仕事の両立 取組 | ・ テレワーク導入 や「くるみん」認定取得促進に向けた企業支援 ・在宅勤務等を活用し、 子育てしながら仕事ができる職住一体の住まい を提案 |
| 課題 | ・送迎(入)の運行等における 安全管理対策 ・職場環境の改善 (不適切保育の防止) |
| 保育の質の向上 取組 | ・ 安全管理や不適切保育未然防止研修 の実施 ・ ヒヤリハット事例と職場環境改善事例の共有 ・保育士の業務負担軽減を図る デジタル機器の活用支援 |
| 課題 | ・ ヤングケアラーの問題が顕在化 |
| ヤングケアラー支援 取組 | ・ヤングケアラーに対する 認知度向上 ・ 支援ガイドラインの作成・周知し、教育、福祉等関係機関と連携した取組 を推進 |
| 課題 | ・ICTを取り入れた指導 |
| 教育支援 取組 | ・県立学校のICT活用を総合的に支援 ・オンライン学習用機器の整備 |